

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

LIGHT UP ROTARY

ロータリーに輝きを

2014-2015年度 国際ロータリー会長 ゲイリー C. K. ホアン



2014-2015年度

会長:吉田正道 幹事:亀井敏勝 クラブ会報委員長:関 貴之

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2014 October 8

■ 2014~2015 年度方針

「職業奉仕の原点に立ち返り、いきいき(粹・意気)ロータリーライフ」

NO.14

例会報告

●第2056回例会 平成26年10月8日(水) 晴

●10月は職業奉仕月間・米山月間

●ロータリーソング 我等の生業

●出席報告 会員 104 名中 出席64名
(95)

出席率67.37% 修正出席率81.05%
(9月24日分)

●ゲスト紹介

・ゲストスピーカー

ピアニスト・フォトグラファー

草野 由花子さん

・桑山卓也君ゲスト 三治 弘和氏

●ニコボックス

「本日の講師、草野 由花子さんをよろしくお願
い致します。ピアニストでもありフォトグラファー
でもあります。」 加藤一郎君

「わたしの娘が先月パリで挙式を挙げ、私もその日
だけはアドベンチスト教会の信者になり娘の幸せ
を祈りました。とりわけ、セーヌ川でのディナー
クルーズは特別席でサプライズもあり最高の気分
を味わう事が出来ました。(娘の結婚は、嬉しく
もあり哀しくもありました)」 黒田史郎君

「10月17日、ニューヨークの国連本部にて開催さ
れるエコドライブカンファレンスにて発起人スピー
チをして参ります。日本代表がんばります!!」

間地 寛君

「11月6日、弊社試飲会&懇親パーティーを開催
させていただきます。ご招待させていただきます。
得意先飲食店女性陣も多数来場、大人の合コンの
会です。」 亀井敏勝君

「10月2日フェローシップで、つばめ自動車の天

野社長を訪問させて頂きました。同社の取組みに
大変感銘を受けました。」

前野智純君、福田哲三君、千住憲夫君
「私のゲストで三治さんに来てもらいました。よろ
しくお願います。」 桑山卓也君

本日のニコボックス	6件	30,000円
累 計	82件	958,000円

亀井敏勝幹事報告

▽名古屋瑞穂ロータリークラブ例会変更のお知らせ
10月16日は通常例会となりました。

▽当クラブ行事予定

・10月15日(水) 規定休日のため、休会です。

・10月22日(水) 例会終了後、理事会を行います。

※10月29日(水)、例会終了後に予定しておりました
理事会は、吉田会長欠席のため、10月22日(水)、
例会終了後に変更となります。

・11月1日(土) WFFに参加のためWFF会場内
テレビ塔北側Aゾーン。
12時30分~13時30分。

※本日、WFFのチケットをお一人様2枚、配布して
おります。11月1日(土)の例会お食事は、こちらの
チケットでお楽しみください。

※11月5日(水)ウェスティンナゴヤキャッスルでの
お昼の例会はございません。

・11月12日(水) もみじ夜間例会 か茂免 18時~。

※11月12日(水)ウェスティンナゴヤキャッスル
でのお昼の例会はございません。

上野山 進副会長挨拶

今日は「建築」にかかわる民俗学的な話しです。
ある建築家とインテリ俳優の渡辺某氏の民俗学的建
築論と銘打った対談を開いて、その中で若衆小屋に
まつわる話しを開いた。

古来日本の海洋系民俗由来の風習で、明治大正の頃

まで「若衆小屋」若しくは「若衆宿」という建築があり、12、3歳から20歳くらいまでの若者がその小屋で起居を共にし、その村落の集団自治を学び、ある種の訓練をしていた。そこでの生活はまるで原始共産社会の様で、その組織の中では、女性も共有され一応自由恋愛ではあるが、強いものが有利な社会であった。

生活を共にするなかで、若衆小屋の扉の前に弓と矢が番えてあるときは、その中で男女が交渉を持っているとの合図である。

ところがある時いつまで経ってもその小屋の扉から弓と矢がはずされない。そこで皆で相談のうえ扉を開けてみると、絡み合った男女の白骨があったという。互いを独占しあいたいと思う、男女の恋人たちは心中という形でそれを拒絶した。これこそ究極の愛の形である・・・と。私は大変感激した。

民俗学にたけた女史にこの話をしたところ、ワハハ！と大笑い。

それこそ妄想性ロマンチストの男どもの話しだ・・・わい。

その女史曰く、私も若衆小屋についてはなにかの本で読んだことがある。うろ覚えながらその話はこんな具合。

若衆小屋の若者達は血気盛んな年頃、その情熱を抑えきれずに夜這いもする。一応女性の側にも拒否権はあったらしいが、まあそういう形での女性の共有化という現象もあった。しかるにその女性が妊娠する・・・と、その女性は子供の父親として好きな男性を指名できると言うのである。

よりどりみどり、・・・結婚と相成る当然のことであるが・・・

「しかし俺には身に覚えがないと言い張る男はいませんでしたか？」

その村の長老曰く「この村にはそんなふとどき者は古来ひとりもおらんのだ！」

現代DNA鑑定を問題とする男たちの話しより、私はこういう多産系の話の方が現実的であり、大好きだ・・・！



トやパーティー、ウェディングなどで演奏活動を行っている。最近、クラシックとジャズを融合させた音楽にも力を入れ、名フィル団員とライブを行ったり、この夏には、ベルリン在住で世界的オーボエ奏者の渡辺克也氏とノリタケの森でディナーコンサートを開催、好評を得た。

その他、MID-FM（ミッドエフエム）76.1メガヘルツ、「平野達也の時空旅行」という番組内で、月に一度「ユカロンのジャジーなフォークの部屋」というコーナーを担当、レギュラー出演中。一方、高校から趣味で写真をはじめ、大学卒業後、昼はコマースフォトスタジオに勤務し、アシスタントとしてとして写真の勉強をしながら夜はピアニストという生活を約7年送る。写真コンテストなどでも受賞。現在、音楽活動をするかたわら、カタログ・パンフレット・フードメニュー・アーティスト写真など商業写真撮影も行っている。

写真について

Q. 商業写真と普通の写真のちがいは？

A. 特にコマースの写真を撮らせていただいています。商業写真というのは広告しなければいけない、商品売らなければいけないので作画的な部分がありまして結構舞台裏は面白いのです。今の季節ですと例えばクリスマスケーキの撮影ですとか増えてくるのですが、おいしそうに見えますよね・・・実はいちごに透明のマニキュアを塗ってあったり、おいしそうに見せているんですね。人物を撮るときなんか男の人はかっこよくライティングをして女の人は出来るだけ光をまわしたりして、ライティングですごく見せたりします。それは普通の写真の作品とは違って商品売るという前提で考えられています。

Q. 写真の撮り方は、センスが必要だと思いますが、絵心も必要？

A. 私は父が画家でして、幼少のころから毎週美術館に行っては絵を観て育ったので芸術にはその点触れていたと思うのですが、カメラマンの職業病かもしれないのですが、普段歩いていても割と四角く切り取って観ていますね。ファインダーのようにつつい観てしまうのが癖かもしれません。あとは色の勉強をしてみたり、配色も考えたりします。

卓話

写真撮影のお話しとJazzピアノ演奏

ピアニスト・フォトグラファー 草野由花子
プロフィール

名古屋生まれ。4歳からクラシックピアノをはじめ、大学卒業後、ジャズに転向。東海地区を中心に、ライブハウス、レストランバー、さまざまなイベン

Q. 使用カメラは一眼レフカメラですか？

A. 今はデジタルの時代になったので、プロも100%ほとんどデジタルの方が多いので私も一眼レフカメラを使ってますけれどわりと最近まで一般にはデジタルカメラが普及しても割と最近までプロの世界ではフィルムが使われてまして、現像があがってくるまでドキドキなんですね。納期もあったりして今はその場で確認できます。

Q. 大きい大判フィルムは機械も大きく大変では？

A. どんなところに行くのにもアシスタントが全部機材を運ばなくてははいけないので腕立て伏せが友達だったというが大変な修行時代でしたけれど今はデジタルの時代になったのでどこでも一人で運べます。

音楽について

Q. 音楽家にとって耳が大切ですよね？

A. 大切なんですよね。耳の調子が悪くなると演奏に影響が出てしまうので困ったことがあれば高木耳鼻咽喉科に駆け込んでおります。耳は大事にしたいと思います。

Q. どういうシチュエーションで仕事されていますか？

A. ジャズのミュージシャンというのはいろんな演奏に対応することができるので、当然ジャズのライブハウスですとかレストランバーですとかその他にウェディングとか最近増えているのがお葬式。

Q. ジャズってアドリブなんですか？

A. 全くその通りです。即興演奏でやるのがジャズの楽しいところでもあります。すぐにセッションが出来るとというのがジャズの難しいところでもあり楽しいところでもあります。

Q. フォトグラファーと音楽と両方の仕事をしていて良かった事は？

A. まず、写真ですがミュージシャンの知り合いが多いのでいろんなアーティストの方からアーティスト写真を頼んでいただけるところです。音楽をやっている人がシャッターを切ると違っておっしゃっていただいてCDジャケット撮影ですとかもやらせていただいてそういう風に言っただけなのは嬉しいですね。両方の感性がお互いに良い効果の評価されるのは嬉しいことだと思います。

演奏

- ・ いつか王子様が
- ・ 枯葉

ロータリー米山記念奨学事業について



カドカシバラムさん（学友）
私はシバ ラム カドカ です。シバはシバ神のシバ、ラムもうヒンズー教の神様の名前であり、カドカはファミリー名前です。ネパールのジリというところで生まれました。最初に、テンジンとヒラリーはジリのルートからエベレストを登山されました。ジリはエベレスト山域のトレッキングのため人気がある場所です。ジリの高度は1905メートルであり、ネパールの州都、カトマンズから184km離れています。ジリは景色がきれいで気候もうすごく住みやすいといわれています。

ネパールのヒマラヤ山脈の景色と自然、または、ヒンズー教のお寺、お釈迦様を生まれた場所などが観光客のため魅了の財産になっています。ネパールへ行って自然との遊びをロータリーアンのみな様にもお勧めします。ネパールの町は汚いですが自然は自分もびっくりするほど美しいです。時間がありましたら是非ネパールの美しい自然と触れ合ってください。

私は2006/10/10に来日しました。1年半は日本語の学校で日本語を勉強しました。その後愛知大学で国際コミュニケーション学部へ進学しました。愛知大学の3年生の時米山ロータリーの奨学生になることができました。愛知大学卒業後神戸大学へ一年間経済学の研究生として勉強しました。今は名古屋大学の国際開発研究科の経済開発専攻で“ネパールの遠隔地における持続可能なマイクロファイナンスのためのモバイル・バンキング採用の可能性”について論文を書いています。

こく幼少の頃から日本の技術は世界中で大変人気があると聞いてきました。ひと月ほど日本を旅行したことがある父からは、日本の発展状況や、日本人が勤勉であること、また日本は平和の国で、時間やルールなどきちんと守るなどを聞かされました。自分の国についていうと、発展途上であり、ルールや時間などをあまり守りません。世界中で自然が一番美しいと言われますが、生活水準はあまり進んでいません。高校卒業後は医者になろうと勉強を頑張りましたが、思うようにいかず、留学することを考えました。父も日本へ留学することをとても喜んで賛成してくれました。ネパールの発展のため日本から様々なことを学べると思いました。日本へ来る前は、日本の技術について学びたいと思っていましたが、渡

日後日本語学校で勉強する間に、日本人がなんでもきちんとやることに感銘をうけました。バイトでも日本人は真面目に仕事をしていました。これが印象に残り、ネパールが発展するためには、技術よりもまずは人々の生活の面などなんでもきちんとすること、時間を守るが一番大切だと思うようになりました。

来日して米山ロータリーの奨学生になってから本当に自分が変わり、ひとつ夢を持つことができました。日本に来てから自分の国についてよく知るようになりました。ネパールの良い面や悪い面を知り、分析するようにもなりました。発展については、日本とネパールは比べられないほど差があります。ネパールはアジアの中でも貧困で発展が遅れています。そのネパールのことを想いながら先進国の日本で暮らしていても、幸せを感じることはできません。日本で便利で安全な交通を利用していても、毎日安心してきれいな水を飲んでいても、本当に満足はしていません。なぜなら、ネパールではまだ一日に二食のご飯も食べられない人のことや、飢えのため死んでしまう子供のことなどを思い出すからです。ネパールでは交通が危険だったり、きれいな水が不足しているために一日に何人も死んでいます。ネパールのこの悲しい現実には、色々な疑問が浮かんできます。なぜネパールの政治は長い間不安定なのか？なぜゴミを片付けることさえできていないのか？国民みんなでルールを守りきちんとやればできることなのになぜやってないのか？なぜ政府が強く指示することができないのか？

現状を変えるためには、僕らや今の若者の責任はすごく大きいと思います。しかしその責任を感じる人々がいるかどうか、また責任を果たすことができるかどうか大きな課題です。自分は政治家になり国をよくすることが夢であります。しかし国を変えるためには、自分の中にはっきりとした戦略がなくはなりません。また強い精神力をもたなければ、たとえ政治家になったとしても国を変えることができず終わる可能性があります。夢を達成するためには、はっきりとしたミッションとビジョンが必要となります。その明確なミッションとビジョンを持つため、名古屋大学で勉強を頑張ることが重要です。

私は気になった国際ロータリーテーマがいくつかあります。例えば、以下のようです。

- 1、行動 強化 継続性
- 2、ロータリーでよりよき世界を
- 3、隔りを取り除こう
- 4、奉仕の灯で道を照らそう
- 5、時間を捧げよう 奉仕のために
- 6、人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

7、見つけよう 奉仕の新生面

8、ロータリーアン—奉仕に結束—平和に献身

9、まことの幸福は人助けから

10、地域を育み、大陸をつなぐ。

米山ロータリーの奨学生の生活はとても楽しかったです。毎月いただく奨学金で勉強のため時間を買うことができました。勉強に支えていただいただけではなくいろいろな行事で参加をし日本の文化に触れ合うことができました。私はお世話になった豊川クラブではクリスマス会の時にネパール人の友達が集まり踊りを見せました。こんなように日本とネパールの文化交流することができました。私のロータリーアンのカウンセラーの家族ともすごく仲よくなり自分の家族のような温かく愛をされいろいろな面倒を見ていただけました。一緒に温泉行ったり、バーベキューをやったり本当に楽しかったです。米山ロータリーのおかげで日本でもお父さんとお母さんを見つけることができました。本当に感謝します。米山ロータリーの卒業後金銭面的に困ったときロータリーアンであるホシザキ会社の社長坂本精志様から奨学金をいただきました。このように素晴らしい機会を与えていただいた米山ロータリー財団とロータリーアンのみな様に心から感謝をします。

もし、米山ロータリーの奨学生にならなかつたら、自分は大学卒業後就職をし、自分の生活のことばかり考えていたかもしれません。しかし米山ロータリーの奨学生になったからこそ、大勢の人と出会いたくさんの経験をつんだ結果、ネパールをよい国へ変えたいという人生の目標を決めることができました。この夢を達成するためには、名古屋大学での勉強とロータリーアンの皆様から勇気をいただいて道を開き、全力で頑張ることが必要です。ワクワクする社会を作り、人の喜びにつながる仕事をするという夢を追いかけるためにも、日本で学べることは多いです。ぜひ日本での経験をつんで自分の夢を実行したいです。また、ネパールと日本の架け橋になり責任を果たします。

例会	月日	今後の予定
	10.15	規定休日のため例会はありません
第2057回	10.22	元青少年交換学生 松尾玲音君
第2058回	10.29	Aira Inc(アイラ・インク)代表 能力増強トレーナー 増田恭子さん 「思い込みを外して能力アップ!」
第2059回	11.1	ワールドフード+ふれ愛フェスタのため WFF会場(11/5(水)を例会変更)
第2060回	11.12	もみじ例会のため18:00~か茂免 (お昼の例会はございません)

○このウィクリーは再生紙を使用しております。